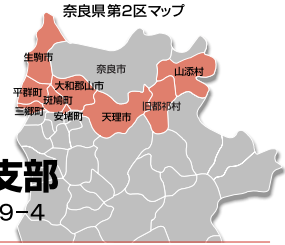




2005年8月20日
号外
(第1・第3金曜日発行)
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

編集元
民主党奈良県第2区総支部
〒639-1121 大和郡山市杉町209-4



1 郵政民営化は 財政改革をできない隠れ蓑!

本当の改革の本丸は、「出口」の改革である財政改革です。小泉流郵政民営化法案は、財政改革をできないことから国民の目をそらすための隠れ蓑です。実は、「入口」(郵貯・簡保)の資金運用は、市場化されており2008年に完了します。小泉政権が唱える「出口の改革のために、入口を民営化する」という理屈はまやかしです。民営化すればかえって入口に入る資金は増え、民間銀行と同様、郵貯銀行は財投国債を買い支えることになります。

私なら、官僚が財投機関(公団や公庫などの特殊法人)に天下ることを禁止する。財投国債を発行して得た国費を財務省理財局が財投機関に配るしくみをやめさせる。現在1000万円の預け入れ限度額を500万円に引き下げ、郵貯に回っていた資金を民間に回すようにする。これが、民主党の対案である「天下り禁止法案」「財投国債廃止法案」「郵貯の預入限度額の引き下げ」です。

2 みんなが払ってみんながもらえる年金制度

若者はもはや年金制度を信頼していません。私なら、まず、ただちに国会議員年金を廃止する。現在サラリーマン・公務員・自営業で異なる年金を一元化する。そして、全ての国民が所得に応じて年金保険料を支払い、払った分は利息をつけて返してもらえる年金制度に改革します。

前 衆議院議員

中村てつじ

8月12日 民主党奈良県第2区の公認候補となりました。
第44回 衆議院議員総選挙は8月30日公示
9月11日 投票です。

Profile

- 1971年(昭和46年)7月24日生駒市生まれ。
 - 白百合幼稚園 卒園
 - 生駒市立生駒小学校 卒業
 - 東大寺学園中学校・高等学校 卒業
 - 京都大学法学部 卒業
 - 民主党 参議院議員 海野 徹 政策担当秘書
- 2000年6月 衆議院議員初当選(28歳)
2003年11月 衆議院議員2期目当選



詳しい内容は、
中村てつじのホームページを
ご覧ください。

**中村てつじが
郵政民営化法案に
反対する理由**

ここを
クリック

1. まやかしの改革
2. 巨大独占企業による民業圧迫
3. 金融改革に逆行する肥大化
4. 小さな商店がつぶれる「あすなる村の惨劇」
5. 公社形態のメリット
6. 小泉政権の真の狙い

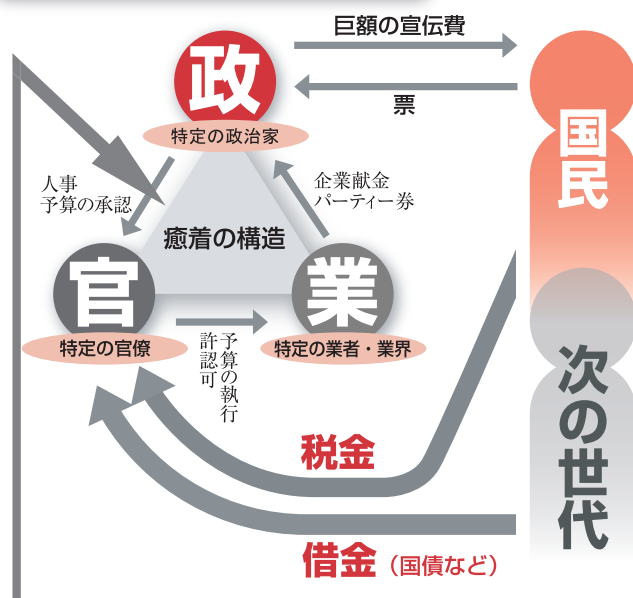
▼その他の政策もご覧ください。

メールマガジン「国会からの手紙」 <http://www.kokkai.org>
E-mail / mail@tetsu-chan.com

<http://www.tetsu-chan.com>

政権交代で癒着を断つ!

政・官・業の癒着の構造



このトライアングルを断ち切ることができるのは
選挙による**国民の投票**のみ!

一つの政党が政権に居続ける限り、必ず、与党の政治家と官僚は癒着します。まず、**特定の与党政治家と特定の官僚**の間で、**個人的な関係**が作られます。与党の政治家が当選回数を重ねて出世することで、その政治家と懇意にしている官僚は、有形無形の利益を得ます。さらに、政権交代がなされず政権政党が固定化していけば、**与党政治家と官僚との個人的な関係**は、先輩後輩の関係で積み重ねられることによってより複雑に**絡み合い**、**与党全体と官僚組織が一体化**するという形で**組織的な癒着構造**を完成させます。

与党政治家は、**人事権**と**予算の承認権**により、官僚に対して影響力を持っています。官僚は、**予算の執行権**と**許認可権**により、業者・業界の商売を左右する影響力を持っています。業者・業界は、

与党議員に**企業献金**や**パーティー券**の購入によって巨額の政治資金を提供します。

政治家は、**巨額の宣伝費**を使い、知名度を上げて当選を勝ち取る。当選後は、与党の官僚組織への影響力を背景にして、再選のために**公共事業受注企業**から**巨額のカネ集め**をすることになります。

また、官僚は、複雑な制度や組織を作り、天下り場所を確保します。政治家は、特定の分野に特化して官僚と産業界のつなぎ役をすることで、族議員と化してきます。そして、この**天下り官僚と族議員の癒着の構造**は、公共事業漬けの**談合構造**をつくり出し、社会から活力を奪っていきます。

この政官業のトライアングルを断ち切ることができるのは、**選挙による国民の投票**のみです。あなたが政治不信を理由に投票に行かなければ、ますますこの構造は強化されていきます。今、時代が必要としているのは、**利権に負けない政治家**を選ぶ皆様のご参加です。

すべての人が 生きやすい社会へ。

地球規模で進行する環境破壊、コミュニティの崩壊、子育てや教育の悩み、様々に残る差別・不公正・不公平。今の政治は、急速な時代の変化に対応できていません。私はこれからも、多様な価値観を認め合う、全ての人々が生きやすい社会の実現に取り組んでまいります。

政治への疑問、ご意見、ご提言をお聞かせ下さい。

あなたの声をFAXで

0743-59-2228



民主党奈良県第2区総支部
〒639-1121 大和郡山市杉町209-4
TEL. 0743-59-3915
FAX. 0743-59-2228